

山添藤真

ともに、未来を創ろう

晩夏の候、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
6月3日(月)～20日の会期中、平成25年6月定例会が開会されました。平成25年度一般会計補正予算第1号、地酒普及促進条例などの議案が提出され、全議案を可決しました。

本活動報告では、定例会での発言内容や活動報告の一部をご報告させて頂きます。

山添藤真はより良い与謝野町を創るために精一杯の活動を展開して参ります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。

『外貨獲得事業の推進を』

平成24年4月に施行された「与謝野町中小企業振興基本条例」の基本理念や条例を制定する目的等を明らかにするために設置された前文では、「従来からこのまちを支えてきた産業と、観光、福祉、環境などの新たな産業との連携のもとで、経済活力が地域内循環する産業振興を図るだけでなく、域外からの財の獲得にも努めなければならない」と明記されています。

私は、これまでも域外からの財の獲得、すなわち「外貨獲得事業」の必要性を主張し、町内企業が町外で行う販路開拓事業の支援や外貨獲得を目的のひとつとする交流人口拡大事業の施策立案を求めてきました。

一例をご紹介します。

当町の喫茶店が作るお菓子がヒットして、町中だけでなく隣町からも買い物に来たと仮定してみてください。これまでは、この町に住む人たちだけがお菓子を買っていたので、お菓子屋さんの収入源は地域の人々の財布からでていることになりました。ところが、町外からの顧客の消費は、当該地域にとつては、域外からの新たな財を獲得したことを意味します。お菓子屋さんには、この増えた収入でもって地酒を買ったとしてみましましょう。酒造業者の人も収入が増えたことになるので、そのお金でもってそのお菓子屋さんに行って従業員たちのおやつを買うことになりました。

これは、域外から獲得した財が地域内で循環していることを表しています。つまり、資金が循環することとは、それが誰かの所得になっていることでもあります。もちろん、域外から財を獲得せずとも、

答弁内容

①織物・農業・観光分野を中心に進めていきたい。

②織物：丹後全体(与謝野町だけの統計額ではない)の総出荷額は平成24年度で約90億円。

農業：出荷額ベースで約8千7百万円。観光消費額：約5億2千万円。

③今年度実施するギャップ調査の結果ともリンクしながら、民間主導の観光振興の取り組みがひろがる機運づくり、環境づくりに努めたい。

④今すぐに「支援隊」を組織化する計画はないが、町外で暮らす出身者や縁のある方々を交えた懇談の場を設け、意見交換したい。

資金は域内を循環することができず、それはいずれ頭打ちとなります。人口が一定で資本が減少しない世界では、域内循環だけで持続できるかもしれませんが、現実はそのようではありません。域外市場からの財を獲得することは地域経済の持続に必要な条件になるということです。

当町の地域経済を活性化させていくには、多種多様な「外貨獲得事業」の立案及び実行が必要不可欠であるという立場から、次の4点について質問致します。

第1点目は、当町における分野別の外貨獲得事業の現状と展望です。当町におけるそれぞれの産業分野における外貨獲得事業の取り組みや今後の展望は。

第2点目は、分野別産業別の外貨獲得額の現状及び対する見解です。現在、当町の産業分野は域外からの財の獲得をどれくらい実践できているのか。

第3点目は、民泊を軸とした体験型滞在事業の立案についてです。この「民泊」の提案については、平成22年12月定例会の一般質問を皮切りに数回にわたり提案しております。再度、見解を求めます。

第4点目は、(仮称)与謝野町支援隊の設立の提案です。現在、与謝野町の人口は約2万3千人ですが、本籍地人口は約3万3千人です。つまり、与謝野町に縁のある人たちが約1万人が全国各地に居住されていると考えることができます。私はそうした方々に当町の文化や魅力を紹介していただくことができるのだとしたら、当町の外貨獲得にもつながっていく可能性があると考えております。見解を求めます。

ともに、未来を創ろう

山添藤真

ポスティングを
させてもらってます！



山添藤真活動レポートは、新聞折り込みだけでなく、各家庭へのポスティングでもお届けさせて頂いています。与謝野町中をまわっていますので、私の姿をお見かけになられたら、お声がけ下さり、叱咤激励をして頂けたら幸いです！
美しい花木や風景にも応援してもらいながら、ポスティングをおこなっています。

増えている!? 交流人口

ここ数ヶ月の間に、日本各地や海外から丹後にお越しになられる方々が絶えません。皆さんもそのように感じられることがあるのではないのでしょうか。
私は地域外から友人や知人が来丹する機会があれば、地元の友人などに積極的に声をかけて、一緒に地域事にでかけたり、食事をとったりするように心がけています。そうすることで、地域との交流が生まれ、さらなる人口の還流が生まれていくと考えるからです。そうした機会を積み重ね、小さな良き変化を起こし、より豊かな与謝野町にしていきたいと思います。



京都Xキャンプのみなさんと
商工会青年部のみなさん
(写真左)



フランス語婦人会のみなさん



フランス人・造形作家
ミーシャさんご一行

www.yamazoetoma.com

ホームページにて山添藤真の日頃の活動をリアルタイムでお伝えしております。

山添藤真後援会

〒629-2263 京都府与謝郡与謝野町字弓木493番地
TEL: 0772-46-2031(携帯 080-2077-4591) FAX: 0772-46-4394
EMAIL: toma.yamazoe@gmail.com



7月25日(木)、京都府町村議会議員研修会に参加しました。講師は元鳥取県知事の片山善博氏。住民目線に立った議会改革を進めていく必要があるとの立場から、積極的な公聴人制度の活用、議場のレイアウト、議案・議題中心の議会運営への移行など、具体的な提案をして頂きました。



町内で行ったカーサオロピアンコ
研究会※のみなさんと勉強会
※<http://micro-techno-house.org>